

平成 24 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

# 刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 23 年 10 月 23 日

16 : 00 ~ 17 : 30 (90 分)

(120 点)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60点)

甲女は、生活費に窮したため、以前勤めていたことのあるスナックの経営者V女から金品を強取しようと企て、息子の乙(13歳)に対し、予め用意していた覆面、モデルガンを渡し、「V女の店に行って、これを使って脅し、金を取ってきて」と命じた。乙は、スナックに出かけ、覆面をして店内に押し入り、モデルガンを突き付けてV女を脅し、自己の判断で、シャッターを閉め、警察に通報されないようV女の携帯電話を取り上げて、「出てきたら撃ち殺すぞ」と言ってV女をトイレに閉じ込めた。そのうえで、店内のレジから現金20万円を奪った。乙は自宅に戻り、甲に現金を渡し、甲は現金を生活費として費消した。

甲の罪責を論ぜよ。

## 問題 2 (60点)

甲は、Vに500万円を貸していたが、Vは、返済期限までに、300万円を支払ったものの、残金200万円を支払わない。甲は、Vからの返済が遅れたことにより迷惑を被ったので、Vに対して、残金200万円と甲に対する迷惑料として100万円の支払を要求した。その際、甲は、「待つのも限界だ。すぐに支払わなければ、知人に暴力団員がいるので、そいつにこの債権を売って資金を回収する。そうすれば、ただでは済まないだろう。」などと申し向けた。その結果、怖くなったVは、300万円を甲に支払った。

他説を批判し自説を展開して、甲の罪責を論ぜよ。